

男女共同参画推進のための職業講話（第一小学校）

とき	令和7年11月7日(金) 10:45~12:15
ところ	沼津市立大平小学校 教室
対象	6年生(28名)
沼津市立病院 (薬剤師)	
	<p>薬剤師は、大学の薬学部で勉強を6年間した後、国家試験で合格することで、なることができます。</p> <p>薬剤師は、全国で男性が約39%、女性が約61%となっています。私が働く沼津市立病院では、男性と女性が同じ程いて、育児休業などの休暇制度が充実しており、性別問わず働きやすい職場となっています。</p> <p>また、薬剤師は病院や薬局で働いているイメージがありますが、それ以外でも教授や研究者など、様々な場所で活躍できます。</p> <p>薬剤師は、薬を「安全に、正しく、安心して使う」ための仕事をします。薬を通じて、「人の役に立つ」・「誰かを元気にする」ことができます。薬のスペシャリストである薬剤師を是非目指してみてください。</p>
米久株式会社	
	<p>米久は、お肉を入手して、お客さんに届けるまでを一貫して行っている会社で、多くの方が働いています。</p> <p>その中で、私は採用や社員食堂の管理など、米久で働く人たちを支える仕事をしています。この仕事を通じて、間接的に世界中の人の食に貢献することができるので、やりがいを感じています。</p> <p>また、男女共同参画社会の目指すべきものは、「一人ひとりの豊かな人生」を実現することだと思います。そのためには、何事も「自分ごと」として考えて、仕事をするのが大切だと考えます。</p>
沼津信用金庫	
	<p>沼津信用金庫は、今年で75周年を迎えます。現在、職員が463名で、男性が約51%、女性が約49%となっており、平均年齢が38.7歳と、性別・年齢問わず活躍することができる職場となっています。</p> <p>信用金庫の仕事は、主に、お客様のお金を預かる「預金」、お客様にお金を貸す「融資」、お客様のお金を安全にやり取りする「為替」の3つです。銀行の仕事と似ていますが、信用金庫は法律で「地域のために働く」と決まっています。</p> <p>私自身が静岡県東部の出身であり、この地域の支えになりたいと思い、この仕事を選びました。この仕事を通じて、お金に関する様々な知識を学び、それを生かして、地域の人たちの生活を支えることにやりがいを感じています。</p>